



今回は、訪問でのリハビリ・マッサージってどんなことをしてくれるの？という素朴な疑問にお答えしましょう。

ずばり、内容は、運動療法と可動域訓練とマッサージ(手技療法)などを組み合わせ利用者様の症状の維持・改善をはかりQOLを高めていくという内容です。しかし、必ずしもこれらのメニューをこなさなければならないものではありません。病状によっては、運動療法をしない方が良いケースも多々あります。つまり、メニューは一人一人異なります。←当然ですよ。

また関節の痛みで悩まされている利用者様の場合は、動作の癖を分析します。なぜ、そこに痛みがでるのか？年齢のせいではなく我々は日常の体の使い方や筋肉の柔軟性などにもアプローチし、解決策を探ります。

これら施術を、週に何回か決め定期的に行っていくものです。施術回数ですが今までの経験から言って、週に2回で現状維持。

週に3回以上で症状が回復しやすくなるのが目安のように感じます。←もちろん、週に1回でも効果の出ている方がいるわけで、本人のやる気と周囲のサポート環境や病状により変わります。